



ねんりんピック鹿児島2008

みんなで参加・応援しよう！

10月25日(土)から28日(火)までの4日間にわたって、「ねんりんピック鹿児島2008」がいよいよ開催されます。

大会テーマは「かごしまで 元気・ふれ合い・ゆめ噴火」。県内10市3町を会場に25種目のスポーツと文化の交流大会をはじめ、健康や生きがいづくりに関するさまざまなイベントを開催します。

かごしま大会では、島唄が盛んな奄美市で「民謡」、海岸線が美しい南さつま市では12年ぶりに「サイクリング」の交流大会も開催します。

ねんりんピックは、シニア世代はもちろんのこと、すべての世代の方々に楽しんでいただける大会です。NHK大河ドラマ「篤姫」とも相まって、「温泉」「自然」「食」など、「本物。鹿児島県」の多彩な魅力も全国に情報発信します。みんなで参加・応援をして盛り上げていきましょう！



いよいよ開催!!

大会マスコット さくらまん
鹿児島県の雄大な桜島と参加者が明るくアピールしている元気な姿をデザインしています。



ねんりんピック静岡2006 総合開会式の様子

ねんりんピックとは

「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の方々を中心とする健康づくりや生きがいづくり、社会参加の促進を目的とした全国規模の祭典です。

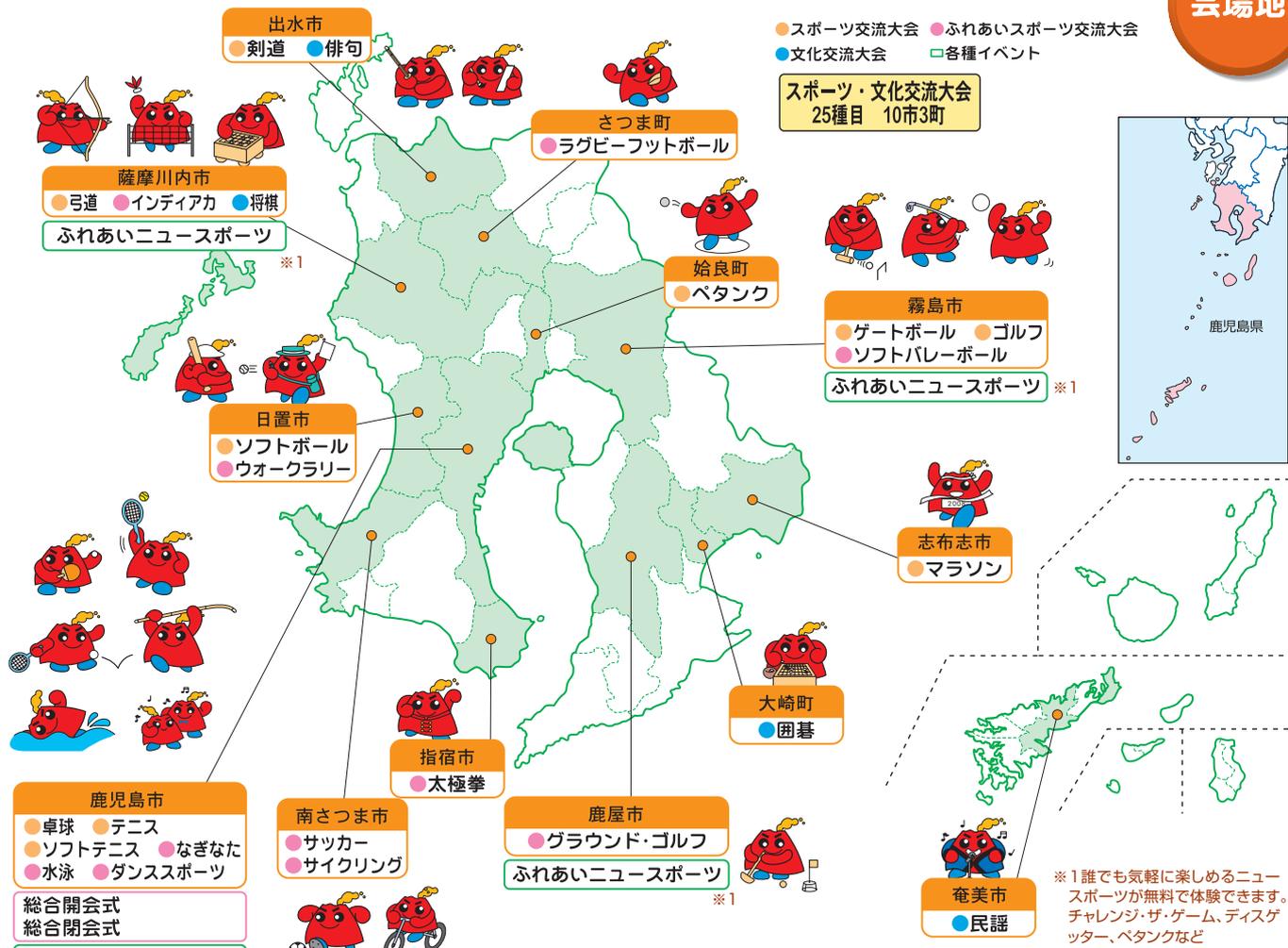
厚生省創立50周年を記念した昭和63年の第1回ひょうご大会以来、毎年開催されています。卓球、グラウンド・ゴルフ、囲碁、将棋などの各交流大会、美術展、音楽文化祭、シンポジウム、健康福祉機器展などのさまざまなイベントを通じて、地域や世代を超えて参加者の交流の輪が全国に広がっています。

全国からの選手・役員約1万人をはじめ、県内外の観客などを含めると延べ約50万人の参加を見込んでいます。



第21回全国健康福祉祭かごしま大会 ねんりんピック鹿児島2008

平成20年10月25日(土)~28日(火)
かごしまで 元気・ふれ合い・ゆめ噴火



※1 誰でも気軽に楽しめるニュースポーツが無料で体験できます。チャレンジ・ザ・ゲーム、ディスクゲッター、ペタンクなど

健康や生きがいなどに関するトークショーやステージショーなどの楽しいイベントも盛りだくさん! ぜひ会場にお越しください!!

事業区分	平成20年10月25日(土)	10月26日(日)	10月27日(月)	10月28日(火)	場所
総合開会式	総合開会式				県立鴨池陸上競技場
健康 関連イベント		スポーツ交流大会			鹿児島市ほか6市町
		ふれあいスポーツ交流大会			鹿児島市ほか7市町
		健康づくり教室			各交流大会会場
		ふれあいニュースポーツ ※1			中央公園(鹿児島市)ほか3会場
	健康フェア				鹿児島アリーナ
福祉・生きがい 関連イベント		文化交流大会			薩摩川内市ほか3市町
	美術展				県歴史資料センター黎明館
	相談コーナー				鹿児島アリーナ
健康、 福祉・生きがい 共通イベント				シンポジウム	鹿児島市民文化ホール
	健康福祉機器展				かごしま県民交流センター
		ファッションショー			鹿児島市民文化ホール
		音楽文化祭			宝山ホール(県文化センター)
	ふれあい広場				鴨池公園 ※25日のみかごしま県民交流センター
総合開会式				総合閉会式	鹿児島市民文化ホール

※2「長寿社会・私の主張」等コンクール(表彰式)



大会に向けて頑張っています！



ねんりんピック
鹿児島
2008

ラグビーフットボール

ラグーマンたちの
素晴らしいプレーに
注目です

選手同士の激しい体のぶつかり合いなど、ハードなイメージの強いラグビーフットボールですが、実はねんりんピックの種目にもなっています。

出場予定の鹿児島市とさつま町の2チームの皆さんによる合同練習の様子です。フィールドを駆け抜ける軽快な走りや、力強い見事なボールパスなど、年齢を感じさせない素晴らしいプレーに注目です。



真剣にボールを追う中にも、笑顔や笑い声が絶えず生き生きとプレーを楽しんでいます。



鹿児島感クラブ（鹿児島市）と宮之城感クラブ（さつま町）の皆さん。
年代によってパンツの色が異なり、黒紺50代（55歳以上）・赤60代・黄70代。



ふくち かねお
福地 兼男さん73歳

高校の時からラグビーフットボールを始め、現在も40歳以上のチーム（桜感クラブ）で、汗を流しています。ポジションはフォワードです。体力維持のために、毎日5kmを歩きます。”One for All. All for One.”の言葉で表されるようにラグビーフットボールは、チームワークの良さが魅力であり、私にとってはまさに人生そのものです。ねんりんピックは、全国の知人と元気で頑張ろうと励まし合えるのも楽しみです。

インディアカ

羽根のついた
ボールを手で
打ち合う
ドイツ生まれの
球技です



インディアカは、ブラジルの伝統的な「ベテカ」という遊びをドイツで改良して作られたスポーツで、南米でインディアンがトウモロコシの葉を束ねて作ったものを打ち合せて遊んでいたのが原形とされています。羽根のついたボール（インディアカ）を手で打ち合うバレーボールとバドミントンが合わさったような競技です。

4人対4人で、バドミントンのダブルスのコートを使用します。サーブはアンダーハンドで行い、その他のルールは、6人制バレーボールに準じています。

バレーボールより気軽で、容易にできるので、生涯スポーツとしても普及しています。昭和59年には、全国レクリエーション大会のインディアカ交流大会が旧川内市で開催され、県内に広まりました。出場されるのは、薩摩川内市の4チームと鹿児島市・鹿屋市の混合1チームです。

ねんりんピック鹿児島2008の交流大会は、県内10市3町を会場に、スポーツ交流大会11種目、ふれあいスポーツが行われます。今回は、数ある種目の中で、「ラグビーフットボール」、「インディアカ」、「民謡」の大会に向けて、日々練習を重ねている出場予定選手の方々を紹介いたします。



歌の出る席ではきまって最初に歌われる「朝花節」。裏声を多用した伸びやかな歌声と、三味線(さんしん)の奏でる繊細な響きが絡み合う島唄のリズムに、心地よく引き込まれていく。

左から昇喜代子さん(69)、嘉川敏子さん(65)、平田久代さん(60)。

民謡

島唄が盛んな奄美市で開催します



のぼり きよこ 昇喜代子さん 69歳

3歳の頃より、母の背中であひを覚え、4・5歳頃から、お祝いの席などで唄うようになりました。奄美の島唄は、南部の東節(びぎやぶし)と北部の笠利節(かさんぶし)とがありますが、南部の東節は、山が多いせいか、抑揚が激しく、だいたいご味と懐かしさを感じます。そういう点に魅力を感じています。ねんりんピックは、県の代表であり責任を強く感じております。出場するからには、日本一を目指したいと思ひます。

全国各地で歌い継がれている民謡。かごしま大会では、島唄の盛んな奄美大島の奄美市で民謡交流大会が開催されます。暮らしに身近な出来事や情感などを唄う島唄。「歌半学」という言葉があり、人生の術(すべ)が盛り込まれた島唄を唄うことで、そのことが自然と身に付いていくといひます。かつては、仕事を終えたと皆が集まり、島唄を唄いあう「歌あしび」が行われていました。歌や三味線(さんしん)に楽譜がない島唄は、唄者(うたしや)や場所によつて、節回しやリズムなどが異なり、さまざまに唄い方をされています。出場予定選手のうち、奥深い島唄の魅力を追求されている奄美地区代表の3名に唄っていただきました。

はしくち なおみち 橋口直道さん 72歳(湯田チーム)



みつなが かつよ 満永克代さん 66歳(ふれんどマザーチーム)

全国レクリエーション大会をきっかけに23年ほど続けています。インディアカは、チームプレーなので、若い人と交流できるのが魅力です。誰でも気軽にできるスポーツなので、インディアカで地域を盛り上げていけたらと思ひます。自分の好きなインディアカを通じて、鹿児島島の魅力を全国に発信していけたらと思ひます。(橋口さん)

友人の誘いで、15年ほど前から始めました。インディアカは、みんなとコミュニケーションしながら楽しくプレーするのが魅力です。スピード感があるので、集中力も必要です。全国から選ばれた素晴らしい選手団の上手な良いところを学び、全国の方と友達になるのを楽しみにしています。(満永さん)



すばやいアタックプレーやブロッキングなどまさに全身運動です。リズムカルな動きに目が離せません。



鹿児島空港に設置された
カウンタダウンボード

みやうち きみこ 宮内 公子さん

私は県外出身ですが、食や温泉、鹿児島弁に表れる温かい県民性などのよさを身にしみて感じて鹿児島ファンになり、何か恩返しができればという想いで応募しました。県民のみなさん1人1人が、選手を応援したり、まちをきれいにしたり、イベントに参加するなど、何かご自分でできることで「ねんりんピック」に参加して、盛り上げていただけるようにPRしていきます。ねんりんピックに参加された方々が、「鹿児島に来て本当によかった。また来たい。」と家族ぐるみで鹿児島ファンになっていただければ大変嬉しいです。



キャンペーンスタッフ



ねんりんピックを
笑顔と真心で
PRします



キャンペーンスタッフの皆さん

ねんりんピック鹿児島2008を県内外に広くPRするため、公募により選ばれた6名のキャンペーンスタッフが各種イベントへの参加、関係機関への表敬訪問などで活躍しています。
大会開催100日前となる7月17日(木)には、鹿児島空港において、開催までの残日数を表示するカウンタダウンボードの点灯式があり、シールやうちわなどを配布し、PRを行いました。ねんりんピックについて質問されるなど、多くの方々の関心の高まりを感じました。



まえさこ ゆうき とうごう ゆうな 前迫 祐輝くん 東郷 友那さん

ねんりんピックについて調べていくと、いろいろな競技で広く交流されていることやペタングのルールも少し分かるようになりました。選手団の皆さんとペタングについて話をしたり、応援をしたり、さらに一緒にペタングを楽しめたらいいなど考えています。自分たちにできることを精一杯やりたいと思っています。10月が待ち遠しいです。



インターネットで調べた内容を発表し、みんなで学習します



元気なさくらじまん
キッズが応援します！

ねんりんピック鹿児島2008では、全国から参加した人々を鹿児島県民の真心で、温かく迎えようと、子供や学生のボランティアなど県民の皆さんの協力により、大会をサポートし盛り上げていくためのさまざまな活動も展開中です。

県内の小学校のうち87校の協力校の児童たち「さくらじまんキッズ」が、各自自治体の選手団を応援する取り組みです。ペタングの大会が開催される始良町の西始良小学校では、5年生が横浜市選手団を応援しています。一学期には、児童らがパソコンで作ったオリジナルカードを選手団の皆さんへ送って交流を図りました。また、ねんりんピックや横浜市について情報収集を行い、報告発表会も行われました。
今後は、横断幕などの応援グッズを作成し、総合開会式では、直接選手団との交流や応援を行います。

※ペタングとは、木製の目標に金属製のボールを投げ合って得点を競う球技です。



ねんりんピック
鹿児島
2008



うえんびゅう あやか たばた しゅういち
上別府 彩華さん 田畑 秀一さん

農業高校生として社会に出ても通用する人間になれるように、一生懸命に取り組んでいます。ねんりんピックにこのような形で参加することができて、嬉しいです。きれいな花を育てるために、こまめに除草するなど愛情を込めて管理をしています。心を込めて栽培したマリーゴールドやサルビアの花で、参加者の方々を温かく迎えたいと思います。今後、もっと多くの花を栽培して、鹿児島県を花いっぱいにしたいです。



色とりどりの美しい花々が大切に育てられています



除草と生育にあわせた管理をみんなで一生懸命行っています

鹿屋農業高校の生物工学科3年生草花班の皆さんは、活動に参加して、たくさんのお花を育てています。

全国からの大会参加者を温かな雰囲気でお迎えしようと、美しい季節の花で彩ったプランターを総合開閉会式会場やイベント会場に設置して、花いっぱいのおもてなしを行います。県内の農業に関する学科のある高等学校、鹿児島大学、福祉施設、県立農業大学校などの皆さんの協力により1500個ほどのプランターの苗が大切に育てられています。



花いっぱい
おもてなし運動

たくさんのお花で
おもてなしします

ねんりんピック鹿児島2008 このほかにも、さまざまなイベントが盛りだくさん!

かごしま県民交流センター / 10月25日(土)~27日(月)

- ふれあい広場
キティちゃんやウルトラマンのショー、特産品展示即売、スタンブラリーなど
- 健康福祉機器展
健康福祉機器の展示や体験、介護福祉の講演会(石井苗子)など
- 子どもフェスティバル
NHK教育テレビ「つくってあそぼ」ワクワクさんの工作ショーなど
- 40歳からの健康フェスティバル
ステージイベント(海援隊、ワイルドワンズ、太田裕美ほか)※

鹿児島市民文化ホール

- ファッションショー / 10月26日(日) 13:30~15:35※
シルバードファッションコンテストや「おしゃれトーク」(国生さゆり)など
- シンポジウム / 10月28日(火) 10:00~12:00※
基調講演「和食の底力」小泉武夫(東京農業大学教授・農学博士)
パネルディスカッション:安藤和津、小泉武夫、佐藤達夫、本多京子、宮川泰夫
- 総合閉会式 / 10月28日(火) 12:00~14:00※
選手団代表入場、次期開催地(北海道・札幌市)への大会旗引継ぎ、ジャンベ演奏などのアトラクション

このほかにも、ニュースポーツ(ベタンク、ディスクッターなど)が体験できるコーナーやオリジナルイベント(ねんりんウォーキング大会、かごしまの健康・長寿「食」フェスタ、さくら「じまん」展)など盛りだくさんです。

※印は、いずれも入場整理券が必要です。申込締切は、9月5日(金)消印有効。定員に達しない場合は、追加募集することもありますので、詳しくは実行委員会事務局までお問い合わせください。

鹿児島アリーナ / 10月25日(土)~27日(月)

- 健康フェア・相談コーナー
ウォーキングレッスン(デューク更家)、メディカルチェック・専門家の無料相談など
- 地域文化伝承館
郷土芸能などのステージ、伝統工芸の制作実演など
- わくわく!サイクル・フェア
自転車教室や「おもしろ自転車」体験コーナーなど
- 「本物。鹿児島県」・「篤姫」展
パネルなどによる展示
- 「長寿社会・小学生の絵」作品展

宝山ホール(県文化センター)

- 音楽文化祭 / 10月26日(日) 12:00~16:30※
県内外のアマチュア団体の演奏、ゲストステージ(ダ・カーポ)
- 「長寿社会・私の主張」等コンクール表彰式
「私の主張」「小学生作文」「小学生の絵」入賞者の表彰(音楽文化祭)を併催

鹿児島県歴史資料センター黎明館

- 美術展 / 10月25日(土)~28日(火)
日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の作品展示

〈問い合わせ・申込み先〉
ねんりんピック鹿児島2008実行委員会事務局
電話:099(286)2864 FAX:099(286)5553
http://www.pref.kagoshima.jp/nenrin/